

令和6年3月26日 令和5年度 修了式 校長式辞

○今年度最後の、みんなで一斉にする挨拶です。心を込めて挨拶をしましょう。

桜っ子の皆さん、おはようございます。

○ピカピカの体育館に、全桜っ子の気持ちのよい挨拶が響く…何とも言えないくらい素敵ですね。そして、皆さんの話を聴く態度、とても素晴らしいです。

○先週の木曜日、この体育館で「卒業証書授与式」という式が行われ、皆さんが大好きだった6年生が、立派な姿で巣立っていきました。そして、在校生の代表として、5年生が式に参列し、6年生の旅立ちを見送りました。1時間半以上もかかるとても長い式でしたが、最後まで集中力を切らさず、とても立派な姿勢・態度で式に参列し、6年生から「桜川小最高学年のバトン」を、しっかりと受け継ぎました。また、式が始まってすぐにかなり大きな地震があってこの体育館もかなり揺れたのですが、5・6年生の桜っ子は、いつもの訓練を生かし、慌てることなく避難の行動をとることができました。それも、本当に立派な姿でした。

○それを見て私は、確信しました。そんな5年生を最高学年・リーダーとしてスタートする令和6年度、桜川小学校はさらに素晴らしい学校になっていくだろうな、と。

○そして、今日は、令和5年度の「修了式」です。先ほど、1年生から5年生までとなかよし学級の代表の桜っ子に、修了証をお渡しました。修了証というのは、それぞれの学年の学習を、すべて修了したという証です。本当なら、卒業式で6年生一人一人に手渡した「卒業証書」と同じように、校長先生から一人一人に手渡すべきものですが、時間の関係もあり、代表の子に渡しました。皆さんは、担任の先生から受け取ってください。

○さて皆さん、この1年間で頑張れたこと、成長できたことは何ですか？

○先ほど、1年生の　　さんは、お友達がいっぱいできたこと。勉強も運動もとてもがんばったこと、上級生に教えてもらったことを生かして、今度来る1年生に優しく教えてあげたいこと、などを、とても立派な態度で発表してくれましたね。「頑張ったこと」は人それぞれだと思いますが、全員に共通していることがあります。それは、みんなが、1年前よりも心も体も、見違えるように大きくなり成長したことです。それこそが、「何ごとにも全力で頑張った1年間だった」という証です。改めて、頑張った自分自身に大きな拍手を送りましょう。

(はい。拍手をやめて、聴く姿勢に戻りましょう。)

- さて、先々週、地域の方々が集まる会議に出席した時のことです。ある地域の方からとても嬉しいことを言っていたので、ここで皆さんに紹介します。
- それは、「あいさつ」についてのことです。「最近、桜川小の子供たちと地域で会ったりしたときに、とても気持ちの良いあいさつを自分からしてくれる人が増えた。特に高学年の子供のあいさつが上手になった」ということでした。
- 校長先生は、3学期、可能な日は毎日正門か東門のどちらかに立って、桜っ子に「おはようございます」と声をかけ、皆さんのあいさつの様子を見てきました。1月より2月、2月より3月、と皆さんの「気持ちのよいあいさつ」のレベルが上がってきているのを感じていましたが、地域の皆様に対してもそれを実践してくれている人が増えたことがとても嬉しかったです。
- 今、後ろにいる4年生、5年生が来年は「高学年」になります。学校の中でも、外でも、気持ちの良いあいさつを、自分から進んで、笑顔で、さわやかにできる桜っ子が増えるよう、高学年の皆さんがお手本になってくれたら嬉しいです。あいさつ自慢の学校になれるよう、さらに頑張っていきましょう。
- また、朝マラソンや無言清掃など、桜っ子ならではのよさも、さらに伸ばしていきましょう。そして、みんなで素晴らしい学校を創っていきましょう。
- 4月から学年が一つあがり、ひと学年上の、お兄さん、お姉さんになります。そこで、校長先生から春休みの宿題を出します。その宿題とは、「こんな〇年生になりたい」という目標を、この春休み中に、一人一人がもつこと、です。特に5年生の皆さん。自分の目指す姿「こんな6年生に、私はなる」というその姿を具体的にイメージして4月を迎えてください。
- 開校50周年という記念すべき年である「令和6年度」、桜川小がさらに素晴らしい学校になるかどうかは、桜っ子一人一人の頑張りにかかっています。とても期待しています。
- それでは、これでお話を終わりにします。4月8日(月)、また、みんなが笑顔で、この体育館に集まれることを楽しみにしています。